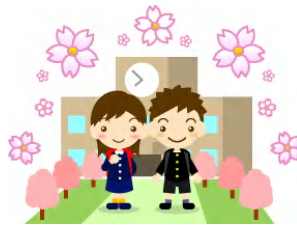


## 地域安全ニュース

# 「あづみ野」

平成29年4月号 (第267号)



安曇野防犯協会連合会  
安曇野警察署  
Tel 72-0110

携帯電話からは  
0263-72-0110



# 子どもを犯罪から守るために!



## ～ できることから始めましょう ～

全国的に、不審者による声かけ事案が多発しています。生活の多様化で、子どもたちの活動範囲が広くなり活動時間も長くなりました。また一人で長時間留守番をする子どもさんも多いことでしょう。

周りから守ってもらうだけでなく、子ども自身が「自分で自分を守る力」をつけることが必要とってきました。地域と家庭がしっかりと連携してみんなで子どもを守りましょう。

### 地域と家庭で子どもを守りましょう

- ☆ 子どもたちを見かけたら、「いってらっしゃい」「気をつけてね」「おかえり」等、声かけと見守りをお願いします。
- ☆ 通学路、公園などに防犯灯を設置したり、視界を妨げる樹木や枝などを刈り込んで見通しを確保するなど、安全な環境づくりをお願いします。
- ☆ 子ども自身が「自分で自分を守る力」をつけ、「被害に遭わないための行動」がとれるよう、家庭で話し合しましょう。



### 防犯ブザーについて

「防犯ブザー」は、もしもの時、大声を出せない場合それに代わって危険を周囲に知らせてくれる大切な物です。持っていたのに手が届かなくて使えなかった、引っ張ったのに鳴らなかったということほど残念なことはありません。



#### 取り付ける位置は？

- ☆ 右手でも、左手でも引っぱれる所で、体の中心に近い位置が引きやすいでしょう。



- ☆ カバンの中や横ではいざという時に引っぱることができません。

#### 故障・電池切れの確認を!

- ☆ 「防犯ブザー」も機械です。誤作動・電池切れ、水濡れ・ショックに弱い等、短所もありますので、定期的に点検しましょう。
- ☆ 電池も消耗しますので、予備の電池を用意しておくようにしましょう。

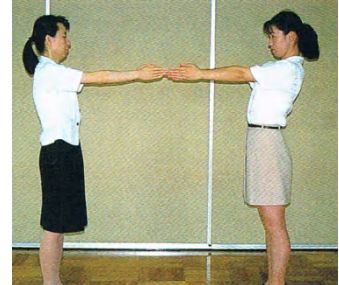
#### 護身術について

ここでいう護身術とは、相手を倒すためのものではなく、「とっさの危険から身を守る技術である」ということです。一番大事なことは、護身術を使った後、犯人がひるんだ隙に素早く逃げ、周りの人に自分の身の危険を知らせる事です。

☆ 知らない人と接する時は、手をのばしても相手から届かない距離（1.5メートル以上）を保ちましょう。

もし相手が一歩踏み込んできても、この距離があれば身をかかわすことができます。

☆ 大声を出す、防犯ブザーを鳴らす、手近な物（傘、バッグ荷物等）を振り回したりして、相手を寄せ付けないようにしましょう。



#### 「地域安全マップづくり教室」

「地域安全マップ」とは、子供たちが自ら危険な場所を点検し、犯罪の起こりやすい場所（危険な場所）を書き込んだもので、犯罪発生の場所を記した発生マップや危険箇所マップとは全く違います。マップづくりを学び、危険予測のキーワードを覚えることによって、初めて行った場所でも、危険な場所か安全な場所かを子供自身が判断できるようになります。どのような場所で犯罪が起こりやすいのかを理解でき、子供自身が危険を予測する意識や能力を高めるのに効果的であるといわれています。

安曇野警察署では、毎年、管内2校の6年生を対象に委嘱している「セーフティリーダー」に対して、「地域安全マップづくり教室」を実施しています。

#### 危険な場所のキーワード

##### 「入りやすく見えにくい場所」

- ☆ 誰でもどこからでも入れる。
- ☆ 見通しが悪く暗い。
- ☆ 地域のことに関心がなかったり、見て見ぬふりをする人が多いため、何かあっても気にしてもらえない。

#### 安全な場所のキーワード

##### 「入りにくくて見えやすい場所」

- ☆ 入り口が限られているので人の目が集まりやすく逃げ道が少ない。
- ☆ 近所の人たちが犯罪者に注意している。
- ☆ 地域の人が集まりやすい。

防犯ブザーや護身術は危険な場合に使うものですから、使わずに済むことが一番です。子どもたちが、防犯ブザーや護身術を使わなくてすむ状況に自分の身を置くことができること、つまり「犯罪が起こりやすい場所（危険な場所）」を認識して近づかないことが、自分を守ることに繋がります。



- ☆ 「犯罪が起こりやすい場所」には行かないこと。
- ☆ どうしても、「犯罪が起こりやすい場所」に行かなければならないときには、一人では行かないこと。
- ☆ どうしても一人で、「犯罪が起こりやすい場所」に行かなければならないときには、隙を見せず警戒をすること。